

「人が生き 町が活き 未来がいきる 富岡町」 実現プロジェクト



福島県 富岡町

企業版ふるさと納税のご案内



『とみっぴー』
富岡町公式マスコットキャラクター



自然豊かな町

福島県浜通り地方の中央に位置
太平洋と阿武隈山地との間に広がる
面積68.39km²、人口16,000人の町
年間降水量1,533mm/年間平均気温13.8℃
温暖で過ごしやすい地

人々が往来する町

【南北】

- JR常磐線（富岡駅、夜ノ森駅）
郡内で最も多い乗降者数
(H22年間約30万人)
- 常磐富岡I.C
・再開通 (H26. 02. 22)
・全線開通 (H27. 03. 01)
- 幹線道路 国道6号

【東西】

- 県道 小野・富岡線

充実した都市機能の町

- 国機関 裁判所、労基署、職安、営林署
- 県機関 富岡土木事務所（前身は明治の郡役所）、
双葉農業普及所、原子力立地振興事務所
- 警察署 双葉警察署（H22富岡・浪江警察署統合）
- 金融機関 6行7店（東邦、福島、大東、労金、あぶく
ま信金、相双信組）
- 医療機関 初期救急医療「今村病院」と6医院（内科、
外科、整形外科、眼科）
- 郵便局 2局
- 商業施設 ヨークベニマル2店舗、家電量販店、ホーム
センター、ドラッグストア
- 電気関係 東京電力(株)浜通り電力所、(株)東北電力、NTT
等の支店
- 教育関連 小中学校4校と“双葉地区教育構想”



東日本大震災と原子力災害

平成23（2011）年

3/11 14:46 東北地方太平洋沖地震 発生
富岡町災害対策本部 設置
15:30 津波襲来
【第1回目の避難：町内の集会所や体育館】
19:03 福島第一原発 原子力緊急事態宣言 発令
21:23 第一原発半径10km圏内 屋内退避指示 発令

3/12 05:32 第一原発半径10km圏内 避難指示 発令
富岡町・川内村災害対策合同本部 設置

【第2回目の避難：川内村】
15:36 福島第一原発1号機 水素爆発
18:25 第一原発半径20km圏内 避難指示 発令

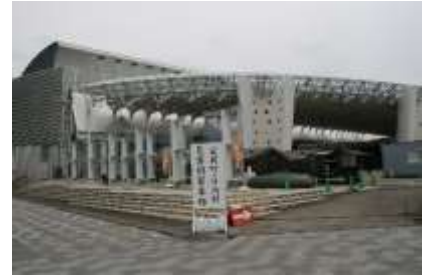
3/14 11:01 福島第一原発3号機 水素爆発

3/16 富岡町民・川内村民の避難
【第3回目の避難：郡山市（ビッグパレットふくしま）】

4/22 福島第一原発半径20km圏内 警戒区域に設定
(富岡町 全域)



川内村に向かう避難の列



富岡町・川内村災害対策合同本部



ビッグパレットふくしまでの避難生活



誰もいなくなったまち



立入が禁止され修繕もできない道路





平成23 (2011) 年4月22日 設定

- ・警戒区域 (立入禁止)
- ・計画的避難区域 (立入禁止)
- ・緊急時避難準備区域 (緊急時避難)



平成24 (2012) 年4月1日 時点

- ・警戒区域 (立入禁止)
- ・計画的避難区域 (立入禁止)
- ・居住制限区域 (立入緩和)
- ・避難指示解除準備区域 (一時帰宅・事業再開)



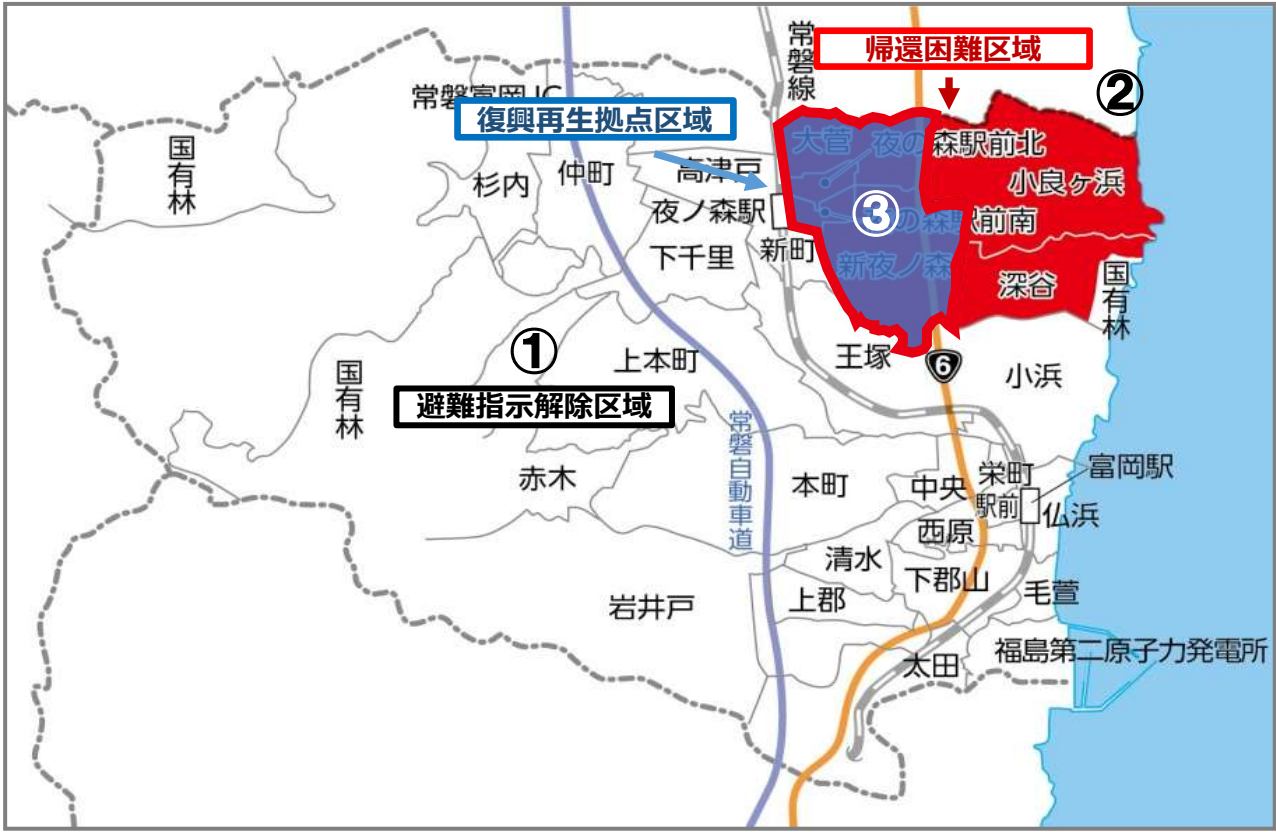
平成25 (2013) 年3月25日 見直し

- ・帰還困難区域 (立入禁止)
- ・居住制限区域 (立入緩和)
- ・避難指示解除準備区域 (一時帰宅・事業再開)



区域	面積 (約)	人口割合 (約)
帰還困難区域 (50mSv/年 超)	8.5km ² (12%)	4,800人 (30%)
居住制限区域 (20mSv/年~50mSv/年)	34.0km ² (50%)	9,800人 (60%)
避難指示解除準備区域 (20mSv/年 以下)	26.0km ² (38%)	1,400人 (10%)

- 平成29（2017）年4月1日、帰還困難区域（赤着色部分）を除き避難指示を解除し帰町開始
- 平成30（2018）年3月9日、帰還困難区域内の復興再生拠点区域（青着色部分）を復興再生認定、令和5（2023）年春解除を目指し各種事業着手。



区域	面積	人口割合	解除時期
①避難指示解除区域	約60km ² （88%）	約11,200人（70%）	平成29年 4月
②帰還困難区域	約8.5km ² （12%）	約4,800人（30%）	
③②のうち特定復興再生拠点区域	約3.9km ² （6%）	約3,900人（24%）	令和5年春目標

- 令和2（2020）年3月10日JR常磐線全線再開通に伴い、JR夜ノ森駅やアクセス道路の避難指示を先行解除



◎町内の居住者数

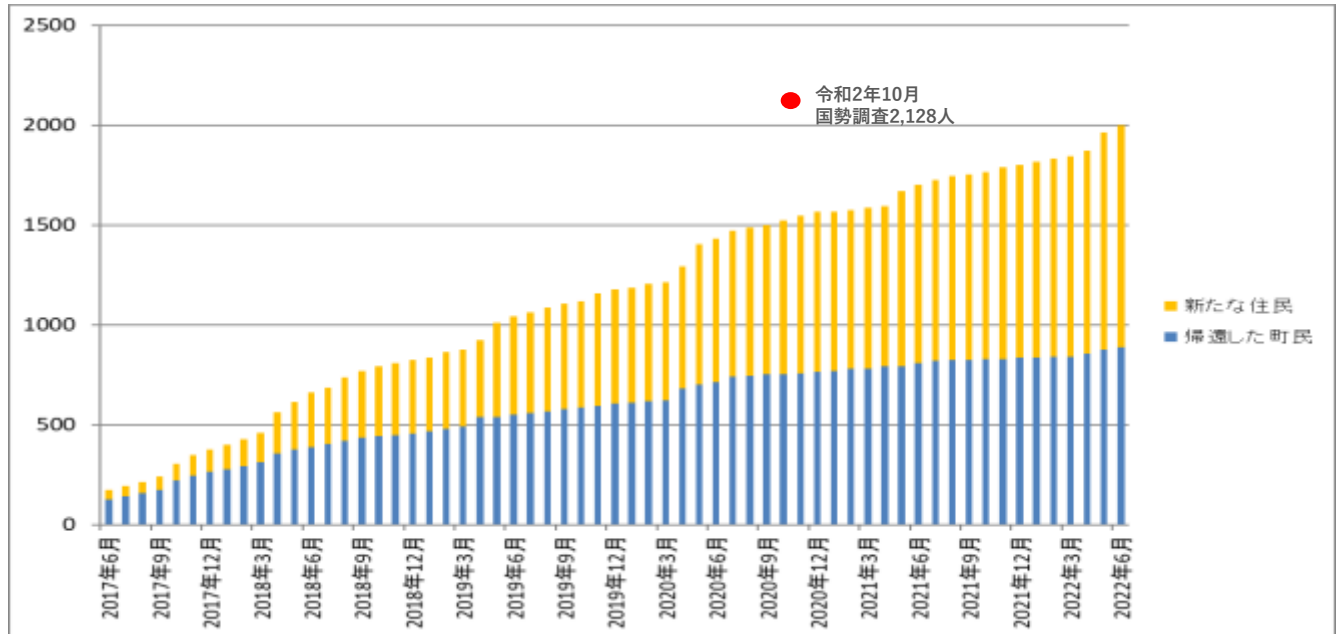
(令和4年10月1日現在)

震災時15,961人 6,360世帯 → 住民登録数(避難者含む)11,824人 5,661世帯
うち町内登録者 2,063人 1,449世帯

※参考 令和2年10月国勢調査 2,128人

(富岡町災害復興計画(第二次)後期 令和7年3月末目標 5,000人)

町内居住者推移(住民登録上の数)



◎町内の児童数

(令和4年5月31日現在)

①認定こども園の園児数

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	前年同月比
園児数	2人	10人	8人	14人	10人	9人	53人	+18人

②富岡小学校の児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年同月比
児童数	8人	6人	6人	4人	8人	3人	35人	+6人

③放課後児童クラブ(旧富岡第二小学校の体育館)利用登録者数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年同月比
登録者数	4人	6人	4人	3人	4人	1人	22人	-

④富岡中学校の生徒数

	1年	2年	3年	計	前年同月比
生徒数	7人	9人	5人	21人	+2人



漁船の帰港（令和元年7月）



8年ぶりの稲刈り（令和元年9月）



移動図書館の開始（令和2年7月）



JR夜ノ森駅待合室の
完成（令和2年11月）



カントリーエレベーターの
稼動開始（令和4年9月）



一大産地化をめざすタマネギ
の収穫（令和3年6月）



アーカイブ・ミュージアム開館
（令和3年7月）



わんぱくパークのオープン（令和3年3月）



移住相談窓口「とみおかくらし情報館」の
オープン（令和4年3月）



JR富岡駅前に移転した観光協会
（令和4年2月）



サケふ化施設の稼働開始
（令和4年3月）



特別養護老人ホーム「桜の園」（令和4年3月）



トータルサポートセンターとみおか（令和4年4月） あさいちマルシェの開催
（令和3年9月）

ポイント 1

町とつながり続ける環境をつくる

☆安心して暮らせる生活環境やふるさととつながれる「心のゆとり」を生み出すため、祭事などを通じたコミュニティの再生や、町内の建物などを管理する仕組みをつくります。

ポイント 2

インフラ復旧・拠点整備等で町民生活の基盤をつくる

☆デマンドバスを運行し、公共交通機関の利便性向上を図ります。また居住が可能な「特定復興再生拠点区域」を再生し、住民の安全確保を目指します。

ポイント 3

産業の再生と新たなしごとをつくる

☆一次産業を支援するための環境整備を行います。また、地域活性化と雇用促進を目的に、産業団地への企業誘致を行います。

ポイント 4

町民が安心して生活できる環境をつくる

☆働きやすく暮らしやすいまちづくりのため、地域で子どもを守り育てる取組みを行っています。また、暮らしと健康を支えるため、医療や福祉環境、放射線被ばく検査体制の拡充を進めています。

ポイント 5

新たな人の流れをつくる

☆交流・関係人口の創出及び拡大を目指し、移住希望者の受け入れ態勢を整えていきます。



富岡町公式Facebook



とみっぴーFacebook



とみおかアーカイブ
ミュージアムFacebook



富岡町公式チャンネル



富岡町公式アカウント



とみおかアプリ

「とみっぴーラジオ」放送中！

ラジオ福島・毎月第2火曜日
午後2時10分～午後2時20分



『コミュニティ広場』で利用者同士で自由な情報交換



- ・ 富岡町ホームページ : <https://www.tomioka-town.jp/>
- ・ 富岡町移住定住ポータルサイト : <https://www.tomiokakurashi.com/>
- ・ とみおか放射線情報まとめサイト : <https://tomioka-radiation.jp/>
- ・ 富岡町文化交流センター 学びの森 : <http://www.manamori.jp/>
- ・ とみっぴーラジオ：ラジオ福島（毎月第2火曜日、14：10～14：20）

人が生き 町が活き 未来がいきる 富岡町

■ご寄附のメリット

- 感謝状の贈呈
- 贈呈式の開催
- 公式HP等での周知

■寄付金の使途

- 復興事業への活用
(企業様からの指定も可)

ご支援・ご協力のほど、
よろしくお願い申し上げます



富岡町役場

本庁舎	福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1 ☎0240-22-2111
いわき支所	福島県いわき市平北白戸字宮前8 ☎0246-88-1987
郡山支所	福島県郡山市大槻町字原ノ町49-1 ☎024-983-9021